



TICAD IV 横浜開催に向けて  
『市民シンポジウム:アフリカの食と農を知る』  
～私たちに何ができるか?横浜で考える～

アフリカといえば飢餓、貧困にあえぐ大陸だと思いませんか？

アフリカの広大な土地には、地域の気候や暮らしに応じた多様な食文化が育まれています。また、その食文化を支えてきた農業も、世代から世代へ脈々と受け継がれています。

世界的にみると食料は足りていると言われています。しかし、テレビなどでよく放映されるアフリカの飢餓。なぜアフリカの一部では足りないのでしょうか？

それらの疑問に答えるべく、経験豊富な国際機関の専門家や駐日アフリカ大使、アフリカ食料農業研究者が国際都市・横浜に集います。アフリカの食と農の魅力、またそれらが抱える課題などについて、市民のみなさまにわかりやすくお話しします。当日は、シンポジウムの後、アフリカの人たち・パネリスト・共催者等アフリカ関係者との交流会を開催します。アフリカにちなんだ食べものや農具の展示もあります。ぜひ、アフリカの食と農を身近に感じてください。みなさまのお越しをお待ちしております。

今年5月には、5年に一度アフリカの政府や世界各国の関係者が日本に集まり、アフリカの開発について話し合うアフリカ開発会議の第4回会議(TICAD IV)が横浜で開催されます。パシフィコ横浜で市民シンポジウムに参加することが、アフリカの人たちのことを知る第一歩です。

■日時	2008年1月26日(土)	14:00-16:00	シンポジウム
		16:00-17:00	交流会

■ プログラム

■開会挨拶 横山 光弘 (FAO 日本事務所 所長)

■共催者挨拶 野田 由美子 (横浜市 副市長)

林 達雄 (特活 アフリカ日本協議会 代表)

■ 基調講演 ゴッドフリー・シマシク (在日ザンビア共和国特命全権大使)

ウェルダガバール・キダネ (FAO技術協力局上級農業政策官)

■ パネルディスカッション

◇ モデレーター

勝俣 誠 (明治学院大学 教授)

◇パネリスト 基調講演者に加え以下の3名

吉田 昌夫 (アフリカ日本協議会 食料安全保障研究会 座長)

志和地弘信 (東京農業大学 教授)

柿沼潤 (アース アンド ヒューマン コーポレーション コンサルタント)

■ 交流会 アフリカ関係者との懇談

■会場 パシフィコ横浜 会議センター 301・302

※アクセス→<http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

■参加 参加費: 無料

参加申し込みは、裏面「参加申し込み書」に記入の上ファックス(045-222-1103)にて、または、同内容を電子メール(FAO-JAPAN-INFO@fao.org)にてお送り願います。なお、登録確認の連絡はいたしません。変更事項

が生じた際のみご連絡さしあげます。

- 使用言語 日本語及び英語（同時通訳あり）
- 主催 国連食糧農業機関(FAO)日本事務所  
このシンポジウムは飢餓撲滅キャンペーン(テレフード)の一環として開催するものです。
- 共催 横浜市、(特活)アフリカ日本協議会
- 後援 外務省、農林水産省、(財)横浜市国際交流協会(YOKE)、  
(社)国際農林業協働協会(JAICAF)、アフリカ開発会議横浜開催推進委員会
- 協力 (独)国際協力機構横浜国際センター(JICA 横浜)、明治学院大学、東京農業大学
- 協賛 (社)海外農業教育・研究開発協会
- 関連行事
  - ・ 1月26日(土) シンポジウム会場において:アフリカの食と農を考えるポスターセッション
  - ・ 1月9日(水)~1/30(水)「アフリカ食と農業展」開催(展示) 場所:JICA 横浜
  - ・ 1月12日(土)「一日アフリカ体験 in JICA横浜」(太鼓・ダンス・おはなし・うた・ゲームなどが体験できる親子向け企画) 1回目13:00-15:00 /2回目15:00-17:00 場所:JICA横浜

## 【1月26日 市民シンポジウム 参加申込み書】

宛先: FAO日本事務所(FAX:045-222-1103)

ご所属	
(ふりがな) お名前  (複数名の記入可)	
電話番号	
電子メールアドレス*	
住所(所在地)	

\* 次回からの講演会情報を電子メールにてご案内することがございます。



キャッサバの高収量品種 国際熱帯農業研究所 (IITA) 提供